

患者さんパンフレット

四国がんセンター
泌尿器科



私たち医療スタッフは

- I 入院や手術に対する不安を軽減し、最良の状態での治療が受けられるようにお手伝いします

- II 手術後の苦痛を軽減し、合併症を起こさず順調に回復され安心して退院を迎えられるようにお手伝いします



経尿道的膀胱腫瘍切除術 (全身麻酔) を受けられる方へ

さま



主治医

受け持ち看護師

2000年8月1日 作成
2026年6月1日 改訂

手術までに準備していただきたいこと

- 他の病院で処方され服用している薬がある方は、入院時に必ずお持ちください
(原則、入院中は他の病院の受診ができないため、余裕をもってお持ちください)
- お薬手帳をお持ちの方は、入院時に必ずお持ちください
- サプリメントを飲んでいる方は必ずお申し出ください
- 入院するまでに爪は短く切っておいてください

<以下のものは病院で貸し出し、購入もできます>

- 衣類 (パジャマタイプ/ゆかたタイプ)
- バスタオル
- フェイスタオル
- ティッシュペーパー 1箱
- 紙おむつ (マジックテープ式) 1枚
- コップ、曲がるストローまたは吸い飲み
- 水 (ペットボトル 500ml) 1本

「CSセットのご案内」
冊子を参考にしてください

「入院される方へ」の
パンフレットを
参考にしてください

<ご自宅からお持ちください>

- ビニール袋 3枚

(靴、ねまき、下着などを入れるために使います)



※同意書がお手元にある方は忘れずお持ちください

医療品ショップ くろ〜ば〜

場所 2階 中央処置室前
営業時間 8:30~17:00
定休日 土・日・祝日・年末年始
電話 (089) 999-1129



ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、よりよい状態で退院を迎えられるように患者さんご自身の目標と医療スタッフの目標をあげています

入院は約1週間前後の予定です

手術後の回復は、個人差があり、体の状態によっては予定どおりにすすまないこともあります。その都度対応していきますので、ご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活を不安なく送れるように支援させていただきます



入院日（手術前日） 月 日



今日の目標

- ・手術について理解できる
- ・手術の準備をすすめることができる

<時間>

<予定>

11:00

入院

【入院後に以下のことを予定しています】
・看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明
(テレビの病院案内も参考にしてください)

12:00

昼食

・検温、血圧測定、身体測定
・連絡先、既往歴、生活習慣などの聞き取り
・医師より手術の説明があります
・サインをした同意書は看護師にお渡しください
・午前入院の場合は昼食から提供します
・わからないことやもう少し詳しく説明を聞きたいことなどが
ありましたら、遠慮なくお尋ねください

<お薬>

・他の病院で処方された薬は、一度お預かりします
医師に確認後、続けるか、中止するかをお伝えします

<手術前の準備>

・手術に必要な物品の確認
・シャワー浴をしましょう

<食事>

・食物アレルギーのある方は医療スタッフにお知らせください
・基礎疾患（糖尿病・高血圧等）がある方は、治療食になる
場合があります
・21時以降は**絶食**です

18:00

夕食

21:30

消灯

・眠れない場合は、安定剤を服用することができます

★水分について★

午前手術の方は翌朝3時まで
午後手術の方は翌朝7時まで
水やお茶のみ、飲むことができます

医療スタッフの目標

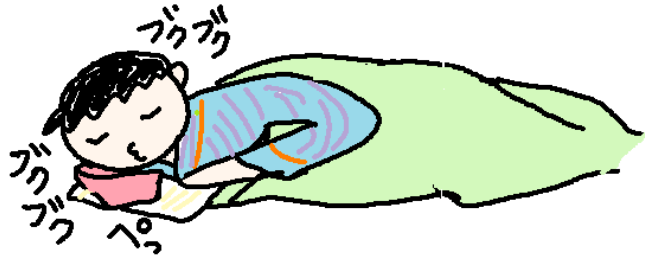
- ・安心して入院生活を送れるように支援します
- ・手術の準備をすすめられるように支援します



手術に備えての練習

手術後のうがいについて

手術後は、絶食ですが、水分をとることはできます
また、口の中を清潔に保つために、うがいをします

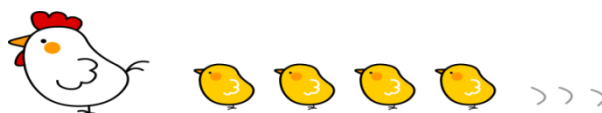


<寝たままでのうがいの方法>

顔を横に向け、ブクブクうがいをした後、ゆっくり吐き出しましょう
(手術後は看護師がお手伝いします)

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう





手術前の目標

- ・ 予定どおりに手術を受けることができる

<時間>

<予定>

6:00

起床
検温、血圧測定
医師の指示がある方は
少量の水で薬を服用します
(薬剤名:)

★水分について★

午前手術の方：午前3時以降
午後手術の方：午前7時以降
水分をとることはできません

手術開始が9時以外の方は点滴を行います

手術
30分前

洗面、歯磨き、トイレを済ませてください
お渡しする手術衣に着替えます
パンツやズボンははいたままでかまいません
手術時に貴金属を身に付けているとやけどをすることがあります
安全に手術を行うために以下のものは全て外してください

	<input type="checkbox"/> 入れ歯		<input type="checkbox"/> 腕時計
	<input type="checkbox"/> コンタクトレンズ		<input type="checkbox"/> イヤリング・ピアス
	<input type="checkbox"/> 磁気製品・湿布		<input type="checkbox"/> ネックレス
	<input type="checkbox"/> かつら・ウィッグ		<input type="checkbox"/> 指輪
	<input type="checkbox"/> お化粧		<input type="checkbox"/> ブレスレット
	<input type="checkbox"/> つけまつげ		<input type="checkbox"/> ヘアピン
	<input type="checkbox"/> マニキュア		<input type="checkbox"/>

※眼鏡をかけて手術室へ行く場合は、眼鏡ケースをご準備ください

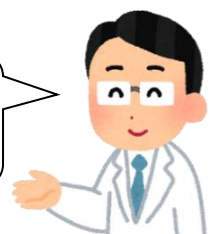
検温、血圧測定

手術5分前

看護師と一緒に（ 歩行・車椅子・ストレッチャー ）で
手術室へ行きます

医療スタッフの目標

- ・ 予定どおりに手術が受けられるように支援します



ご家族の方へ

手術中は、必ず院内でお待ちください（2階フロア・4階家族控え室など）
必ず所在を明らかにし、連絡が取れるようお願いいたします
手術後、主治医から手術の結果について説明があります
他の患者さんの手術の関係で、手術後すぐに説明できない場合は、お待ち
いただくことをご了承ください

HCU（高度治療室）に入室する患者さんのご家族の方へ

手術が終わりましたら、病棟看護師がHCUへ案内します
手術後HCU前室で医師より手術結果について説明があります
手術当日は来院に30分以上かかる場合は、患者宿泊施設「向日葵」に宿泊を
お願いしています
*HCU面会時は、患者さん用エレベーターをご利用ください

病室で付き添いを希望される場合には、医師の許可が必要となりますので
看護師にお申し出ください
布団のレンタルを希望される場合は、2階 医療品ショップ「くろ〜ば〜」
でお尋ねください

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう



手術後の目標

- ・痛みを我慢せず、医療スタッフに伝えることができる
- ・血尿スケールが比色2以下である

手術後は、時間を決めて以下のことを行います

検温、血圧測定、状態観察

- ・帰室時、帰室後15分、30分、1時間、2時間に行います
(これ以外にも必要なときに測定します)

深呼吸

- ・目が覚めたら大きく深呼吸をしましょう

うがい

- ・ベッドに横になったまま行います（看護師がお手伝いします）
- ・医師の許可があるまで、飲水はできません

活動

- ・ベッドの頭側を少し上げます
- ・足の屈伸や膝立、腕の運動は、痛みがない程度に自分で行いましょう
- ・体を横向きにするときは、看護師がお手伝いします

手術後の傷

- ・傷口は透明のテープでとめ、その上を茶色のテープで覆います
- ・術後数日は貼ったままで傷の観察をします
- ・テープをはがした後、ガーゼなどは必要ありません

痛み

- ・痛みが強い場合は、追加で痛み止めを使います
- ・痛みがある場合は、看護師にお知らせください

医療スタッフの目標

- ・手術後の合併症の早期発見に努めます
- ・床ずれの予防に努めます



手術後の患者さんの様子

心電図モニター

- 手術後の状態を安全に管理します
- 血圧を測定するための点滴の管が動脈に入っています

血圧計

- 適宜測定します

酸素マスク

麻酔が完全に覚めるのを助け、手術後の呼吸状態を安定に保ちます

酸素濃度測定器

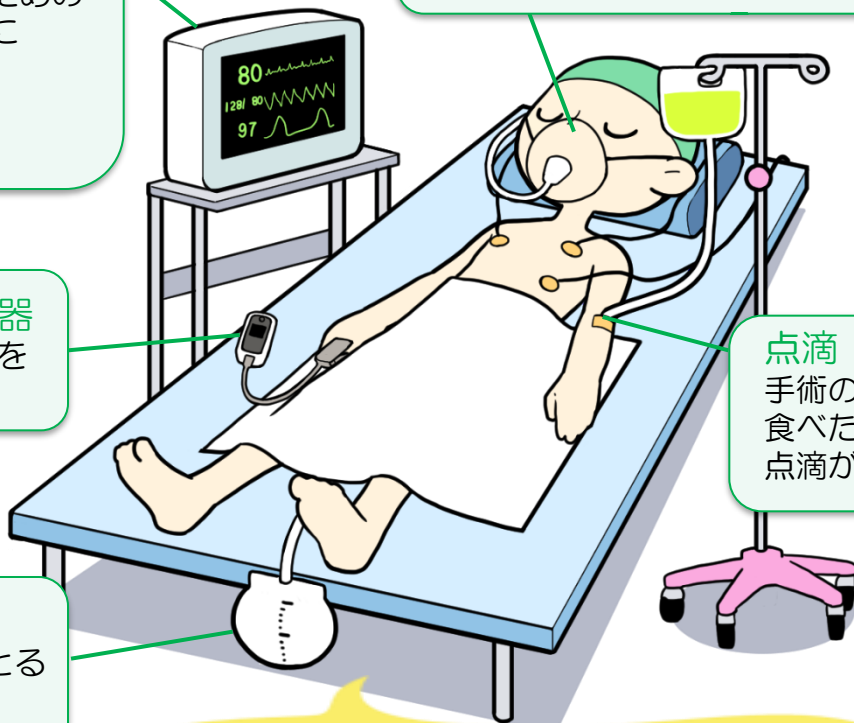
体の酸素の状態を観察します

点滴

手術の後は飲んだり食べたりできないため点滴があります

尿の管

手術中に尿をとる管が入ります

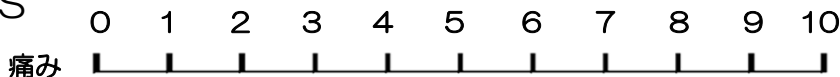


急に動くとチューブ類が抜ける場合があります
体の向きを変えたいときは看護師にお知らせください

手術後の痛みについて

手術後の痛みについては、痛みの程度を看護師が数字でお聞きします（NRS）
数字での表現が難しいときは、フェイススケールでお答えください

1) NRS



全く痛くない

これ以上耐えられないほど
ひどい痛み

2) フェイススケール



0

1

2

3

4

5

痛みがない

少しだけ
痛い

もう少し
痛い

もっと
痛い

かなり
痛い

もっとも
痛い



今日の目標

- ・痛みを我慢せず、医療スタッフに伝えることができる
- ・頭痛や嘔吐がない
- ・血尿スケールが比色2以下である

<時間>

<予定>

6:00	起床 検温、血圧測定
7:30	看護師がゆっくりベッドを起こしますので、座ってみましょう 朝食（全粥）
9:00	回診 膀胱内の洗浄を終了します （手術後の状態や手術内容により、期間が延長する場合があります）
10:00	検温、血圧測定 看護師と一緒にベッドの横に立ち、歩いてみましょう ・尿の管が入っていますので、動くときには引っ張らないように 注意しましょう ・尿の袋は下腹部より下にしましょう
12:00	昼食（常食）
14:00	検温、血圧測定 廊下を歩きましょう シャワー浴、または体を拭きます （看護師がお手伝いします）
18:00	夕食（常食）
19:00	検温、血圧測定
21:30	消灯

医療スタッフの目標

- ・手術後の合併症の早期発見に努めます
- ・床ずれの予防に努めます





今日の目標

- お腹が張って苦しい感じがない
- 排尿時の痛みや尿の出にくさがない
- 血尿スケールが比色2以下である
- 水分を1500ml以上とることができる

<時間>

<予定>

6:00

起床
検温、血圧測定

尿がたくさん出るように水分を
1500~2000ml/日
とりましょう

7:30

朝食

9:00

回診
尿の管を抜きます（状態によっては抜けないこともあります）

【尿の管を抜いた後の排尿について】

- 尿はカップに**全部**とってください
- **初めて尿が出たときは、トイレのナースコールで知らせてください**
- 昼食後尿が出たとき、または3時間経過しても尿が出ない場合は、膀胱の中に尿が残っていないかエコーで調べます
100ml以上残っている場合は、寝る前と翌日の朝にもエコーをします
必要に応じて、管を挿入して尿をとることがあります

管が抜けたら、排尿日誌を書きましょう（最終ページ）

排尿日誌は毎日記入しましょう

※排尿日誌は、退院前日に看護師に提出してください

10:00

検温、血圧測定

12:00

昼食

シャワー浴をしましょう

水分をしっかりとって、尿の中の
血液が塊にならないようにしましょう
（血液の塊が尿道をふさぎ、尿が出なく
なる可能性があります）

14:00

検温、血圧測定

18:00

夕食

19:00

検温、血圧測定

21:30

消灯



医療スタッフの目標

- 手術後の合併症の早期発見に努めます



尿の管が抜けた後の注意すべき症状

- 血尿が濃くなる
- 血の塊が出る
- 尿が出にくい
- 残尿感がある
- 下腹部が張る

などの症状があるときは、看護師または医師にお伝えください

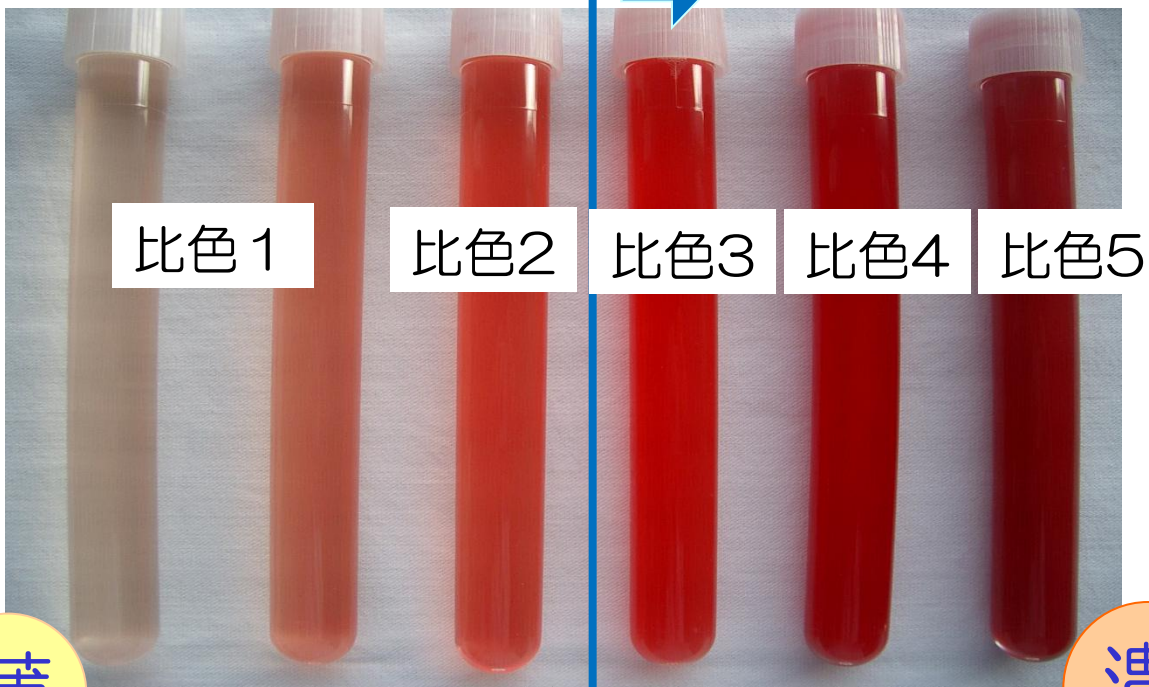
血尿が濃くなった場合、
カップをお渡ししますので
血尿の程度を確認してみましょう

血尿の濃さについてお聞きします
下の表を参考に、血尿の濃さ
をお伝えください



※**比色3以上**になったら
看護師に知らせてください

血尿スケール



比色1

比色2

比色3

比色4

比色5

薄

濃

MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう



今日の目標

- ・お腹が張って苦しい感じがない
- ・血尿スケールが比色2以下である
- ・退院後の日常生活の注意点について理解できる
- ・水分を1500ml以上とることができる

<時間>	<予定>
6:00	起床
7:30	朝食
9:00	回診
10:00	検温、血圧測定
12:00	昼食
	シャワー浴を しましょう
18:00	夕食
21:30	消灯

尿がたくさん出るように水分を
1500～2000ml/日
とりましょう

【排尿について】

- ・前日のエコーで尿が100ml以上残っていた場合は、本日も尿が出た後に膀胱の中に尿が残っていないかエコーで調べます
- ・尿はカップに**全部**とってください
- ・排尿後は、**トイレのナースコールで知らせてください**
- ・エコーで尿が100ml以上残っている場合は次回もエコーをします
必要に応じて、管を挿入して尿をとることがあります

排尿日誌は毎日書きましょう（最終ページ）

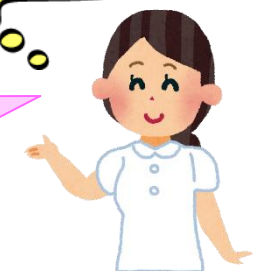
※排尿日誌は、退院前日に一度、看護師に提出してください

水分をしっかりとして、尿の中の血液が
塊にならないようにしましょう
（血液の塊が尿道をふさぎ、尿が出なくなる
可能性があります）

退院後の日常生活について
看護師が説明します

医療スタッフの目標

- ・手術後の合併症の早期発見に努めます
- ・退院後の日常生活に不安がないように支援します



退院日 月 日



今日の目標

- ・退院後の日常生活の注意点について理解できる
- ・退院できる

<時間>

<予定>

6:00

起床
検温、血圧測定

7:30

朝食

9:00

回診

次回予約票をお渡しします

10:00

退院

退院前に忘れ物がないようにご確認ください

「入院診療費料金連絡票」を病室にお届けしますので、
2階でお支払ください

尿がたくさん出るように水分を
1500~2000ml/日
とりましょう

次回外来受診は

月 日 () 時の予定です

外来受診時に検査のある場合は、事前に医師から説明があります

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・退院後の日常生活に不安がないように支援します





退院後の日常生活について

● 食事

水分摂取は1日2000mlを目標にしましょう
栄養のバランスに気をつけましょう
原則的には食事の内容に制限はありませんが、薄味を心がけましょう

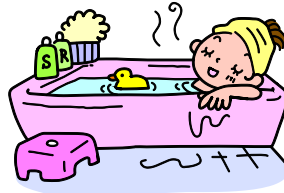


● 排泄

排尿後は血尿が濃くなっていないか確認しましょう
規則的な排便習慣をつけることが大切です
朝食後、トイレに行く習慣をつけましょう
軽い運動や水分をとるように心がけましょう
便秘気味の方は、退院までに医療スタッフと対処方法について相談しておきましょう

● 入浴

体を清潔に保つことが大切です
入浴は、特に制限はありません
今までどおりでかまいません



● 活動

規則正しい生活をして、適度な運動をしましょう
まずは軽い散歩や買い物から始めてみましょう
徐々に活動量を増やしていき、疲れないように調節しましょう
長時間の自転車やバイク・自動車の運転は十分に気をつけ、徐々に慣らしていきましょう
活動について迷うことがあれば、医療スタッフにご相談ください

● お薬

薬の処方がある方は、医師の指示どおりに服用してください
他の病院の薬を服用する場合は、医師に相談してください



● 仕事

これから先、安心して働き続けるためには
体の状態に合わせた休み方や働き方が必要に
なることもあります
病院では、患者さんの「働きたい！」を
サポートしています
ご相談は、がん相談支援センターへお問い合わせください



● その他

定期受診は必ず受けるようにしましょう



- 38.0℃以上の熱が出たとき
- 水分摂取量に関わらず排尿ごとに血尿が濃くなる時

上記のような症状がある場合やその他ご心配なことがある場合は
がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】 8：30～17：15
四国がんセンター がん相談支援センター
(直通番号) 089-999-1114

【平日上記時間外および土・日・祝日】
日直/夜間当直師長
(代表番号) 089-999-1111

翌日以降の外来受診日や検査予約日の変更
【平日】 13：00～17：00
四国がんセンター 予約センター
(直通番号) 089-999-1112



経尿道的膀胱腫瘍切除術（全身麻酔）を受けられる方へ